

報道資料

(答申内容に関する) 解 禁

テレビ・ラジオ・インターネット 6月18日(金曜日) 17時メド

新 聞 6月19日(土曜日) 朝刊から

文化庁の指示により全国統一発表

(答申が遅れる場合は御連絡しますので、答申後の報道としてください。)

令和3年(2021年)6月10日

熊本県教育庁教育総務局文化課

「陣ノ内城跡」の国史跡指定答申に関する記者発表について

令和3年(2021年)6月18日(金)に開催される国の文化審議会(会長佐藤 信)は、新たに10件の史跡を指定するように文部科学大臣に答申する予定です。県内では甲佐町の「陣ノ内城跡」が答申される予定で、その概要について、甲佐町による記者発表が行われますので、日程等をお知らせします。

1 記者発表

日時：令和3年(2021年)6月16日(水) 午後2時30分から

場所：甲佐町役場2階会議室(記者発表後に現地に案内予定)

対応：甲佐町教育委員会、県教育委員会文化課

2 陣ノ内城跡の概要(文化庁報道資料より)

陣ノ内城跡は、緑川と流域の平野を見下ろす標高約100mの平坦地上に立地する。堀と堀の内側に沿った土塁が明瞭に残り、その規模は発掘調査で確認されたものを含めると、東西210m以上、南北190m以上に及び、北西と南東に虎口をもつ方形の城跡であることが明らかになった。江戸時代中期頃から阿蘇大宮司の館跡と伝えられ、中世の輸入陶磁器なども出土するが、肥後国内で突出した規模を持つこと、大規模な堀と土塁で構成される城の構造は、豊臣系大名の城に共通することから、天正16年(1588年)に入部した小西行長が、阿蘇氏の拠点が置かれた場所に築城したとする見方が示されている。

肥後国における中世城館の中でも突出した規模を持つ保存状態が良好な城跡である。城跡のある場所は水陸交通の要衝であり、文献史料と出土遺物などから長期間にわたって継続的に利用されたと考えられる。阿蘇氏から豊臣系大名による肥後国支配へと転換する時期の政治的、社会的状況を考える上でも重要である。



陣ノ内城跡全景写真(北東から)

3 史跡の指定について

○今回の答申により、県内の国史跡は43件になります。甲佐町内では初の国史跡の指定です。

○なお、今回の答申により、全国の国史跡は10件増え、1,869件になります。

○今回答申される他県の史跡（文化庁から発表されています）

くりきてつざんあと いわてけんけせんぐんすみたちょう てんのうやまいせき ふくしまけんしらかわし
栗木鉄山跡（岩手県気仙郡住田町）、天王山遺跡（福島県白河市）、
とりかけにしかいづか ちばけんふなばしし いいもりじょうあと おおさかふだいとうし しじょうなわてし
取掛西貝塚（千葉県船橋市）、飯盛城跡（大阪府大東市、四條畷市）、
じょう がみこふん ならけんごせし いせほんかいどう ならけんうだぐんそにむら
條ウル神古墳（奈良県御所市）、伊勢本街道（奈良県宇陀郡曽爾村）、
くきぎんざんいせき しまねけんおおちぐんおおなんちょう さただに さただおふんぼぐん ひろしまけんしょうばらし
久喜銀山遺跡（島根県邑智郡邑南町）、佐田谷・佐田峠墳墓群（広島県庄原市）、
ゆげじまのしょういせき えひめけんおちぐんかみじまちょう
弓削島荘遺跡（愛媛県越智郡上島町）

○今後、10月頃に官報告示され、正式に指定となります。

4 その他

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、記者発表に参加される方は、手指の消毒やマスク着用など適切な感染防止策を講じていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

（記者発表、陣ノ内城跡に関すること）

甲佐町教育委員会社会教育課社会教育係 かみたかはら 上高原 096-234-2447

（指定に係ること）

熊本県教育庁教育総務局文化課 木村 096-333-2706（内 6716）